

やまゆりニュース

平成 24 年 6 月 第 12 号

東日本大震災から 1 年余の月日が過ぎ、未曾有の被害を受けた被災地の方々が、がれきの中から、あるいは大切な家族を失った悲しみの中から、町単位で、職域で、地元の方、県外の方を問わず叡智を出し合い、資金を出し合い（投資方式もありました）復興に対し、団結力とアイデアでたちあがったことに国内外から高い評価を得ていることが報道されています。

しかし、本当に元通りになるまでにはまだまだどれほどの月日を要するのか計り知れないものがあります。

また、追い打ちをかけるように、茨木県の巨大な竜巻被害、各地の土砂災害、富士山の爆発説、首都圏の直下型地震予告と枚挙にいとまがないことから、不安を感じる方が多いのでしょうか、保険のご契約者が 4 月だけに限らず順調に伸びております。

「備えあれば憂いなし」といいます。今後も 25 年 2 月 1 日付けまで途中加入を受け付けておりますのでお友達等にもご紹介いただきましたら幸いです。

平成 24 年度上半期予定事業

○権利擁護事業

日 時 平成 24 年 7 月 30 日(月) 10:00~12:00

場 所 神奈川県社会福祉会館 2 階ホール

講 師 市川 和彦氏 会津大学短期大学部 教授

テーマ 「施設内虐待を考える～なぜ援助者が虐待に走るのか、その予防と解決のために～」

参加費 無料!!

どなたでも
参加できます



平成 24 年度加入状況

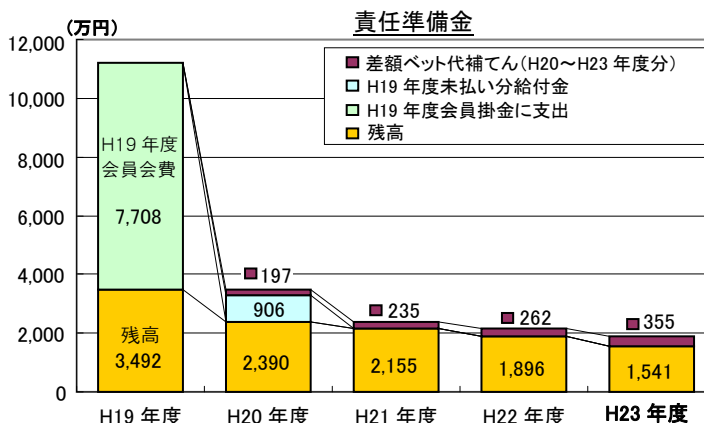
平成 24 年度 6 月 1 日付予定加入者数は 7,000 名余です。ありがとうございました。毎月 1 日付で途中加入も受け付けていますので引き続きよろしくお願ひします。

平成 23 年度の運営状況等

旧やまゆり互助会の責任準備金の状況は、次のとおりです。

○責任準備金は、平成 19 年度会員会費と平成 19-20 年度の入院給付金(互助会分)に使われた後は「差額ベッド費用補てん」の給付に使われています。

平成 23 年度の「差額ベッド費用補てん」の給付は、年間 167 件、支払総額約 355 万円(含送金手数料)、平均給付額は 20,000 円余でした。



■平成23年度第4回 やまゆり研修会報告

『知的障害者における就労支援の実際』

講師 横浜南部就労支援センター センター長 井田雅弘氏

平成24年1月25日(水)厚木市ヤングコミュニティセンターで23年度4回目の研修会が開催されました。就労支援に係る関係制度等概要、企業や就職環境等の実態、実績に基づいた事例報告等についてお話して頂きました。感想等ご協力頂いたアンケートの中から一部を紹介します。(一部要約)

- 定着支援のむずかしさが分った。今後この部分のノウハウを施設職員に勉強してもらいたい。

- 《主な項目》
- ① 就労支援機関の紹介
 - ② 横浜南部就労支援センターの説明
 - ③ 事例紹介
 - ④ 今後の課題
 - ⑤ 質疑応答



- それぞれの支援機関の役割をかみくだいてわかりやすく解説して頂きわかり易かったです。当事者の方や、その親の方が参加されていて、具体的な質問、情報交換がなされていた事が良かったと思う。
- 就労支援センターがどこにあって、うちの子はどこが良いのだろうと考えていてもなかなか親として情報が少なく施設の先生の話でしかわからなかったことが詳しくわかり良かった。
- 就労支援B型事業所に勤務していますが、中で安定してしまい、就労へのステップアップがみられなかったため、今回のお話を伺い、利用者様の適正を見極め、就労へむけて動いていきたいと感じました。日々の作業の中でも訓練やマナーアップを支援し、利用者様の可能性を広げていければと思います。

- 自分の息子は知的障害の中でも重・中・軽でいえば重度のため、子供の就労ということを考えるより、24H必要なとき子供への支援をキレメなく行うことに関心がありましたが、今回の研修会でより幅広い視点から知的障害者の支援(就労支援)を考えるキッカケとなったと思う。
- 就労B事業に移行になり、職員が知っていかなければいけない事が多くあります。制度上のことや、どんな機関があるのかとか役割などのことがよくわからず、ご利用者に対して十分な支援ができていないように思っています。今後も参考になるテーマをお願いします。



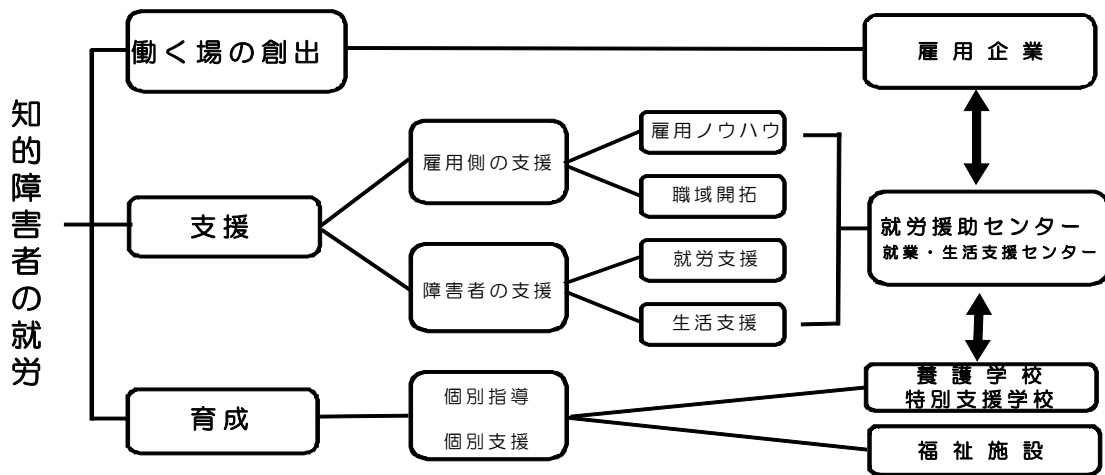
当日の資料から概要(一部抜粋):

《横浜南部就労支援センターの支援内容》

- ① 利用者支援 (就労相談、就労・定着支援)
- ② 企業支援 (障害理解や対応のアドバイス、定着支援(月1回～年1回))
- ③ 関係機関の連携 (生活支援を連携して行う、施設と連携して就労)

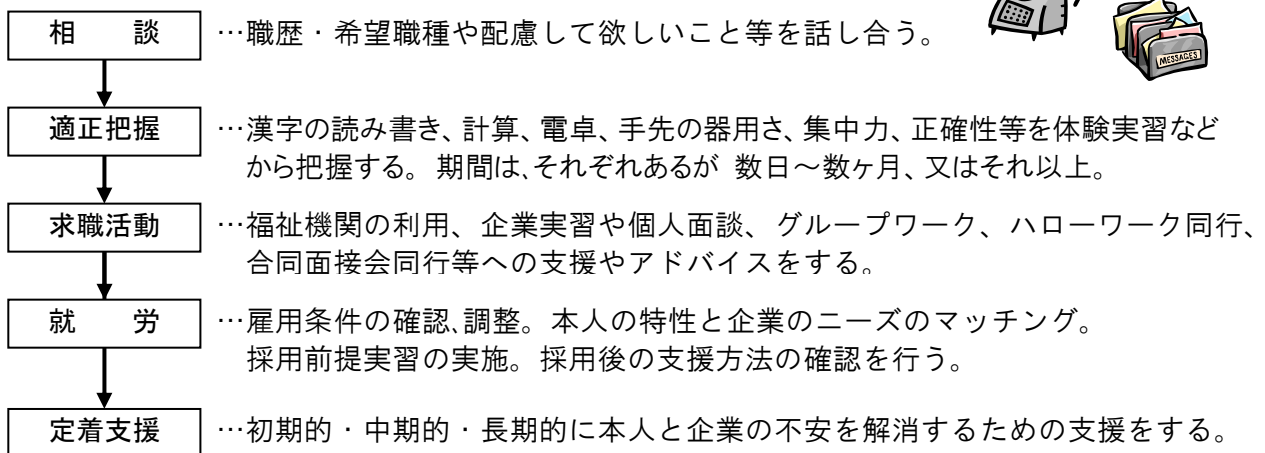


■知的障害者における支援の枠組み



- ① 雇い入れている企業を支援しなければ雇用は拡大しない。
- ② 企業から求められる人材としては、社会人としてのルールやマナーが守られていることが重要。
(→ただし、特性によってできないこともあるので、それらは除く)
- ③ 支援者のスキルアップ
福祉的な専門知識だけでなく、企業を理解することが重要。

■相談から就労までの流れ



■センターの課題

- ①現在、支援センターが抱えているのは、知的障害だけでなく、精神障害者の相談も応じており新たに、発達障害者の支援等、幅広く実施しなくてはならない。
- ②就労者が年々増え続ける中、支援者のマンパワー不足は否めない。
- ③行政(国や市町村)にも定着支援の必要性を訴えかけ、センター機能の強化に声を上げてほしい。



■就労支援機関の紹介(神奈川県内)

(当日配布資料から)

地域就労援助センター	所在地	連絡先
横浜東部就労支援センター	横浜市神奈川区西神奈川 1-1-3 アートビル4F	045-312-5123
横浜南部就労支援センター	横浜市磯子区新杉田町 8-7 電機神奈川福祉センター内	045-775-1566
横浜北部就労支援センター	横浜市緑区中山町 306-1 ミヨシズ・シードビル405	045-937-3384
横浜西武就労支援センター	横浜市旭区柏町 36-15 柏ハーモニビル202	045-390-3119
横浜戸塚就労支援センター	横浜市戸塚区戸塚町 4111 吉原ビル2F	045-869-2323
横浜中部就労支援センター	横浜市西区平沼 1-38-3 横浜エムエスビル4F	045-350-2044
横浜上大岡就労支援センター	横浜市港南区上大岡西 2-10-21	045-844-4402
横浜市精神障害者就労支援センター	横浜市港北区鳥山町 1735 横浜市総合保健医療センター1F	045-475-0142
川崎市南部地域就労援助センター	川崎市川崎区砂子 1-7-5 タカシゲビル6F	044-201-8663
中部就労援助センター	川崎市中原区小杉町 3-264-3 富士通ユニオンビル3F	044-739-1294
百合丘就労援助センター	川崎市麻生区百合丘 2-8-2 北部リハビリテーションセンター3F	044-281-3985
相模原就労援助センター	相模原市中央区松が丘 1-23-1 市立障害者支援センター松が丘園内	042-758-2121
ひらつか生活・就労支援センター	平塚市浅間町 2-20 藤和平塚コープ1F	0463-37-1622
湘南地域就労援助センター	藤沢市辻堂神台 1-7-1 タカギビル4F	0466-30-1077
よこすか就労援助センター	横須賀市本町 2-1 横須賀市立総合福祉会館内4F	046-820-1933
県央地域就労援助センター	海老名市東柏ヶ谷 3-5-1 ウエルストーン相模野103	046-232-2444
県西地域就労援助センター	小田原市曾比 1786-1 オークプラザⅡ	0465-39-2007

就業・生活支援センター	所在地	連絡先	法人名
障害者支援センター ぽけっと	小田原市曾比 1786-1 オークプラザⅡ	0465-39-2007	(社福)よるべ会
よこすか障害者就業・生活支援センター	横須賀市本町 2-1	046-820-1933	(社福)横須賀市社会福祉事業団
障がい者就業・生活支援センター サンシティ	平塚市浅間町 2-20	0463-37-1622	(社福)進和学園
横浜市障害者就業・生活支援センター スタート	横浜市戸塚区戸塚町 4111 吉原ビル2階	045-869-2323	(社福)こうよう会
障害者就業・生活支援センター ぼむ	海老名市東柏ヶ谷 3-5-1 ウエルストーン相模野103	046-232-2444	(社福)県央福祉会
湘南障害者就業・生活支援センター	藤沢市辻堂神台 1-3-39 タカギビル4階	0466-30-1077	(社福)電機神奈川福祉センター
川崎障害者就業・生活支援センター	川崎市中原区小杉町 3-264-3 富士通ユニオンビル3階	044-739-1294	(社福)電機神奈川福祉センター

(2012/05/31 現在)

※上記表中同住所のものは、両機関が併設されているものです。

1 理事会の開催

- (1) 第1回(平成23年4月18日)
- ①平成22年度共催事業の審査をした。
 - ②平成22年度事業報告および決算について審議し決定した。
 - ③平成23年度事業計画および予算について審議し決定した。

2 総会の開催

- (1) 第1回(平成23年4月18日)
- ①平成22年度共催事業の審査の報告を受け承認した。
 - ②平成22年度事業報告および決算について承認した。
 - ③平成23年度事業計画および予算について承認した。

3 理事会の開催

- (2) 第2回(平成23年8月31日)
- ①会員の動向について事務局より、報告があった。
 - ・平成23年度4月から9月までの新規加入者は151人。38人(既加入者)の振替不能等もあり6,904人ということで確定した。
 - ②サポート事業の進捗状況について報告があった。
 - ・年間研修会予定について事業推進委員会より報告がありました承した。(権利擁護2・生活支援2)
 - ・第1回の研修会結果のまとめの報告があった。権利擁護の研修会・堀江まゆみ氏を講師に招き、横浜市西公会堂で102名の参加者があり開催された。
 - ・平成23年度支援者支援会議について21年度・22年度の支援者支援会議の取りまとめ冊子「あおぞらだより」が発行されたことが報告され了承した。
 - ③平成23年度共催事業の計画書の審査を行い承認した。(11件)
 - ④相談支援事業について
 - ・平成23年10月より試行期間として月1回11:00~15:00で開設することが決定した。
 - ⑤その他
 - ・「障害者を理解するために」・堀江まゆみ氏よりのパンフレット配布
 - ・JICより近況報告があった。

(3) 第3回(平成23年10月6日)

- ①やまゆり事業推進委員会相談事業、相談室「やまゆり」に関する提案があり決定した。
- ②平成23年度本人活動支援者会議についての依頼があった。
 - ・事業推進委員会<本人チーム>・11/11に行われる本人活動支援者支援会議の報告と出席者募集要項について要請がありました承した。
- ③全サポ第6回関東甲信越地区ブロック会議への要望事項について事務局から報告がありました承した。
 - ・事業実施における特徴並びに成果と課題
 - ・加入者拡大における具体策並びに成果と課題
 上記2つについてアンケートに答える形で要望書を作り送付した。

4 事業推進委員会の開催

- (1) 第1回(平成23年4月7日)
1. 4月理事会に臨む平成23年度事業方針と予算案について
 - ①平成23年度事業推進委員会方針案について委員長より説明があった。
 - ②事業推進関係当初予算案についても委員長から説明された。
 2. 事業推進状況報告について
 - ①平成23年度事業計画
 - ・候補テーマと講師について話し合い、計画した。
 - ②平成23年度チーム編成がされた。
 - ・権利擁護事業チーム3名・生活支援事業チーム3名・本人活動チーム4名
 - ・相談活動チーム3名
 - ③今後の進め方の意思統一をした。
 - ・事業推進委員会の開催頻度・隔月開催と決定した。
 - ・活動・チーム活動→委員会→チーム活動→委員会で討議する。
- (2) 第2回(平成23年6月13日)
1. 平成23年度やまゆり予算案方針説明
 - ①4月18日開催の理事会で予定通り事業推進委員会予算が決定したことを確認した。
 2. 平成23年度の事業化の内容討議
 - ①前回事業推進委員会の議論を踏まえて、各事業の細目をチームごとに、話し合い決定した。
 - ②今後の進め方についても意見交換をした。
- (3) 第3回(平成23年8月1日)
1. 研修関係について権利擁護事業・生活支援事業チームからの報告を受け意見交換をし了承した(下記3件)。

①第2回目

- 10/7 川崎エポックなかはら
 雨宮 徹氏
 「成年後見制度の概要と併せて実践の中で見られた課題について」

②第3回目

- 11/9 岩間市民プラザ
 篠崎 薫氏・山下 きよ子氏・磯崎 宣護氏・横堀 真一氏によるシンポジウム形式
 「現場での権利擁護の取組」
 GH/CHでの実践と体験から権利擁護を語る

③第4回目

- 1月下旬 厚木市内
 井田 雅弘氏 就労支援の実践を紹介する(仮)
 2. 本人活動チームの報告を受け意見交換をし了承した。

- ①◇日時:平成23年11月上旬~中旬
 ◇会場:未定(横浜市内)
 ◇内容:昨年実施した会議形式を中核に詳細を今後決める。
- ②OB・OG会の組織化呼びかけ

(4) 第4回(平成23年10月18日)

1. やまゆり生活サポート協会の自主事業の進捗状況の確認と展開の進め方について議論と決定を行った。
 - ①本人活動支援者支援会議の進捗状況の報告があった。
 - ◇11月11日開催予定
 - ②相談事業の現状報告
 - ◇「相談室やまゆり」は11月21日(月)から開設予定
 - ③権利擁護事業、生活支援事業の研修会は既決定通り進行中
 - ④次にやまゆりが取り上げるべきテーマについて意見交換をした。

(5) 第5回(平成24年2月13日)

- ①相談事業の現状報告と平成24年度の展開計画について検討した。
 - ◇相談件数が5件あり、開設と同時に需要があったので、相談員、相談員の報酬、回数、開設時間等について今後もチームで検討を続けることになった。
- ②本人活動支援者支援会議の23年度の報告があり24年度について、チームによる計画を検討することがきまった。
 - ◇施設協会の人権委員会主催による平成24年2月8日開催の「あおぞらパーティ」に参加し研修したことについて話し合われた。
- ③権利擁護事業、生活支援事業の研修会について
 - ◇回数については昨年度より絞って各1回とし、第1回目は7月に予定し準備に入ることが決まった。

5 主催研修会の開催

(下記の4回と支援者支援会議を行った。)

- (1) 第1回(平成23年7月21日開催)
 横浜市西公会堂 2階 1号会議室
 堀江 まゆみ氏・『地域で安心して暮らす』
- (2) 第2回(平成23年10月7日開催)
 川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)7階大会議室
 雨宮 徹氏・『青年後見制度の概要と併せて実践の中で見られた課題について』
- (3) 第3回(平成23年11月9日開催)
 岩間市民プラザ ホール
 『現場での権利擁護の取組』
 GH/CHでの実践と体験から権利擁護を語る』
 コーディネーター 篠崎 薫 氏
 シンポジスト 磯崎 宣護氏
 横堀 真一氏
 山下 きよ子氏

◎ 第2回知的障害者本人活動支援者支援会議の開催

- ①日時:平成23年11月11日 11時~
- ②場所:横浜市西公会堂 2階 1号会議室
- ③テーマ:「当事者からの事例(将来の夢他)発言により、支援のありかた」についてグループ討議をする。
- ④参加者:支援者 39名
 当事者 14名

※和泉短期大学准教授 鈴木 敏彦氏による基調講演「障害者福祉の動向と当事者活動支援のあり方」を聞いた後、各グループごとに意見交換をし、全体発表をした。初めに当事者の参加を募ったが申し込み者も多く活発な会となった。

24年度の課題

- ・会場の広さと設営(今年は手狭であったので隣の声が邪魔になった。)
 - ・テーマを複数用意するのはどうか。
 - ・アンケート回答に時間をもう少し長くという意見があったが、当事者にとってはどうか。
- 以上3点を中心に討議を重ねていくことに決定した。

- (4) 第4回(平成24年1月25日開催)
厚木市ヤングコミュニティセンター 6階 ホール
井田 雅弘氏・・・『知的障害者における就労支援の実際』
◎『相談室やまゆり』
毎月第3月曜日(11:00~15:00)開設
試行期間として23年度(11月~3月)は5回開設された。

- (2) 第2回(平成23年6月15日)
31名・671,900円
(3) 第3回(平成23年8月17日)
29名・567,075円
(4) 第4回(平成22年10月19日)
24名・428,450円
(5) 第5回(平成22年12月21日)
31名・506,730円
(6) 第6回(平成23年2月15日)
29名・817,625円



6 給付審査委員会

やまゆり独自の差額ベッド費用補てん給付分(差額ベッド費用が1日あたり3,001円以上5,000円までの実費補てん)について審査し給付した。

- (1) 第1回(平成23年4月20日)
23名・495,731円

合計 167名・・・3,487,511円
※昨年度に比べ人数が33名、金額が907,441円増でした。
だんだん浸透してきた結果だと思われます。
(以下余白)

平成23年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会 決算書

収入				(単位・円)
科目	予算額	決算額	増減額	備考
預り保険料	100,263,700	103,245,030	2,981,330	傷害等保険料
制度運営費	14,826,300	15,291,690	465,390	
雑収入	3,000	1,812	△1,188	預金利息
繰越金	7,942,112	7,942,112	0	平成22年度から繰越
計	123,035,112	126,480,644	3,445,532	

支出				(単位・円)
科目	予算額	決算額	増減額	備考
事業費	3,100,000	2,278,064	821,936	
サポート事業費	3,100,000	2,278,064	821,936	
預り保険料	100,263,700	103,256,990	△2,993,290	
全サボ会費	1,500,000	1,510,600	△10,600	入会金@300、年会費@200
管理費	12,835,000	12,289,613	545,387	
会議費	100,000	58,520	41,480	会議室使用料、お茶代
法定福利費	265,000	313,580	△48,580	事業主負担分
旅費	350,000	203,440	146,560	理事・代議員旅費、給付審査委員旅費、全国サボ協会研修会参加旅費
事務用品費	250,000	237,744	12,256	事務用消耗品費、印刷用紙代等
印刷製本費	600,000	592,054	7,946	パンフレット等製作費(1割負担分)、コピー等印刷経費、事務用機器関連品等購入費
通信運搬費	1,000,000	874,937	125,063	切手等郵便料、電話、通信料、宅急便料、メール便料
事務委託費	1,150,000	1,191,030	△41,030	振替手数料・振替通知郵送料(83+50)、データ管理委託料
広告料	120,000	125,000	△5,000	構成団体等機関誌広告料
所属手数料	1,100,000	1,095,430	4,570	事務手数料
賃金	4,300,000	3,849,408	450,592	職員雇用経費
負担金	3,500,000	3,657,887	△157,887	障団連負担金(人件費、家賃、光熱費他)、社協会費
雑費	100,000	90,583	9,417	
役務費	50,000	50,260	△260	
予備費	5,286,412	7,095,117	△1,808,705	
計	123,035,112	126,480,644	△3,445,532	

平成23年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会責任準備金及び給付事業会計 決算書

収入				(単位・円)	支出				(単位・円)
科目	予算額	決算額	増減額	備考	科目	予算額	決算額	増減額	備考
繰入金	0	1,257	1,257	預金利息	給付金	3,000,000	3,487,511	△487,511	差額ベッド費用補てん分
繰越金	21,551,284	18,958,504	△2,592,780		役務費	100,000	59,955	40,045	ネット代(*)
計	21,551,284	18,959,761	△2,591,523		責任準備金	18,451,284	15,412,295	3,038,989	平成24年度へ繰越
					計	21,551,284	18,959,761	△2,591,523	

(*)差額ベッド費用補てん振込手数料、残高証明書代

平成23年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会サポート事業費会計 決算書

収入				(単位・円)	支出				(単位・円)
科目	予算額	決算額	増減額	備考	科目	予算額	決算額	増減額	備考
繰入金	3,100,000	3,100,000	0	一般会計から繰入	サポート事業費	3,100,000	1,604,064	1,495,936	自主事業 共催事業
繰越金	0	0	0		繰入金	0	821,936	△821,936	一般会計へ戻入
計	3,100,000	3,100,000	0		計	3,100,000	3,100,000	0	

平成24年度 事業計画



1 総会の開催

事業計画や予算、決算等について審議、決定するとともに、知的障害児者の福祉の向上を図るための支援事業の展開に向け、昨年に引き続き事業の方向性等について審議、決定する。

2 理事会の開催

- (1) 事業計画や予算の策定、決算等について審議、決定する。
- (2) 事業推進委員会から報告、提案を受け、今年度事業の進捗状況の把握等を行うとともに、来年度以降の事業内容について審議、決定する。

- (3) 事業負担金配分規程に基づき、各構成団体から申請のあった共催事業について当協会の共催事業としてふさわしい事業であるかを審査し、事業負担金の配分を行う。
- (4) 神奈川県障害児者団体連絡協議会の構成団体として参画することに関する、負担金等について検討を行う。

3 事業推進委員会の開催

昨年に引き続き、今年度事業の着実な推進を図るとともに、今年度事業の実施結果を踏まえて来年度についても具体的な事業内容について企画立案を行う。

4 事業の実施

- (1) 事業の種別
- ア 第1種事業
当協会が単独で主催する事業をいう。
- イ 第2種事業
当協会と構成団体である5団体と共催で行う事業をいう。
- ウ 第3種事業
知的障害児者本人のために行う事業をいう。
- (2) 第1種事業 (A～B)
- | | |
|------|---------------------------|
| 事業形式 | 講演会や研修会 |
| テーマ | (A) 利用者の権利擁護 (B) 利用者の生活支援 |
| 講師 | 学識経験者 |
| 開催時期 | 平成24年度 |
| 開催回数 | 2回 |
| 開催場所 | 横浜市内 1箇所、川崎市内 1箇所 |

- (3) 第2種事業
各構成団体から当協会との共催事業として申請のあった事業で、理事会で審査、決定したものを、当該構成団体と協力し実施する。

(4) 第3種事業

県内における本人活動状況について昨年度に引き続き支援者支援会議を開催する。

5 広報活動

広報誌「やまゆりニュース」を発行したり、構成団体の機関紙に広告を掲載し当協会の事業について情報提供し、会員の理解を得るとともに、保険制度の内容を適時、適切に紹介する。

6 給付審査委員会の開催

当協会独自の給付である差額ベッド費用に係る給付について、必要に応じて随時(2ヶ月に1回程度)審査委員会を開催して審査し、正確な給付金額を決定する。

7 事務処理の円滑な推進

事業実施に係る構成団体等との調整を円滑に進めるとともに、加入手続きや会費の収納事務、団体保険に係る受付、差額ベッド費用に係る給付などについて、適切かつ迅速な処理に努める。

8 関係団体との連携

全国知的障害児者生活サポート協会や関東地区における協会との連携協力を深め、共通認識の上で適切な対応に努める。

(以下余白)

平成24年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会 予算書

収入				(単位・円)
科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
預り保険料	104,410,500	100,263,700	4,146,800	傷害等保険料
制度運営費	15,439,500	14,826,300	613,200	
雑収入	3,000	3,000	0	預金利息
繰越金	7,095,117	7,942,112	△846,995	23年度から繰越
計	126,948,117	123,035,112	3,913,005	

支出				(単位・円)
科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
事業費	3,100,000	3,100,000	0	
サポート事業費	3,100,000	3,100,000	0	
預り保険料	104,410,500	100,263,700	4,146,800	
全サボ会費	1,520,000	1,500,000	20,000	入会金@300、年会費@200
管理費	13,913,000	12,835,000	1,078,000	
会議費	100,000	100,000	0	会議室使用料、お茶代
法定福利費	360,000	265,000	95,000	事業主負担分
旅費	350,000	350,000	0	理事・代議員旅費、給付審査委員旅費、全国サポート協会研修会参加旅費
事務用品費	300,000	250,000	50,000	事務用消耗品費(印刷用紙等)、事務用機器関連品等購入費
印刷製本費	600,000	600,000	0	パンフレット等製作費(1割負担分)、会報作成費、コピー等印刷経費
通信運搬費	1,250,000	1,000,000	250,000	切手等郵便料、電話、通送料、宅急便料、メール便料
事務委託費	1,173,000	1,150,000	23,000	振替手数料(83+50)、振替通知郵送料、データ管理委託料
広告料	130,000	120,000	10,000	構成団体等機関誌広告料
所属手数料	1,100,000	1,100,000	0	事務手数料
賞金	4,600,000	4,300,000	300,000	職員雇用経費
負担金	3,850,000	3,500,000	350,000	障団連負担金(人件費、家賃、光熱費他)、社協会費
雑費	100,000	100,000	0	会費返納金振込手数料
役務費	50,000	50,000	0	
予備費	3,954,617	5,286,412	△1,331,795	
計	126,948,117	123,035,112	3,913,005	

平成24年度 責任準備金及び給付事業会計 予算書

収入				(単位・円)	支出				(単位・円)
科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考	科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
繰越金	15,412,295	18,958,504	△3,546,209	平成23年度から繰越	給付金	4,000,000	3,000,000	1,000,000	差額ベッド費用補てん分
					役務費	100,000	100,000	0	差額ベッド費用振込手数料
計	15,412,295	18,958,504	△3,546,209		責任準備金	11,312,295	15,858,504	△4,546,209	平成25年度へ繰越
					計	15,412,295	18,958,504	△3,546,209	

平成24年度 サポート事業費特別会計 予算書

収入				(単位・円)	支出				(単位・円)
科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考	科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
繰入金	3,100,000	3,100,000	0	一般会計から繰入	サポート事業費	3,100,000	3,100,000	0	第1種事業費、第3種事業費、第2種事業費(850,000)
繰越金	0	0	0		事業費積立金	0	0	0	
計	3,100,000	3,100,000	0		計	3,100,000	3,100,000	0	

事務局からのお知らせ

☆「加入者証」について

口座振替日の「お振替のお知らせ」と共に平成24年度「加入者証」が郵送されてきたことと思います。「加入者証」は一年間お手元に保管をお願いします。

- ・また、今年度から『介護医療保険料控除証明書』が一緒についています。

2010年の税制改正により「介護医療保険料控除制度」が新設され、入院給付金(入院一時金、入院諸費用、差額ベッド費用、付添介護費用)分の、年間合計保険料の6,720円が適用となりましたので所得税の年末調整時まで保管してください。これは年間掛金17,000円に含まれているので、もう一度支払うものではありません。

☆加入依頼者の変更について

加入依頼者を成年後見人、保佐人、補助人に変更される場合は、契約内容変更依頼書と共に登記事項証明書のコピーのご提出をお願いいたします。

☆「相談室 やまゆり」は、試行期間を終え、24年度も毎月第3月曜日11時から15時に開催しています。県内には既存のいろいろな機関による専門性の高い相談事業がたくさんあります。それらとは別に「身近なところで悩みや相談を聞いてもらいたい」という時には気楽にお電話ください。

※第3月曜日が祝日の場合は第4月曜日になります。

☆「差額ベット費用補てん」の請求忘れを防ぐために、全ての保険金請求はAIUやJICへ直接ではなく、必ずやまゆり知的障害児者生活サポート協会事務局を経由してご請求ください。(その日のうちに言葉や書類の不備を確認してJIC宛発送いたします。)

☆おケガや病気で入院し保険金請求される場合、診断書はいりません。添付書類は、病院の領収書のコピー、または、退院証明書(会計窓口で出していただける200～400円位で入院期間が明記されているもの)のコピーで良く、AIUから所定の診断書用紙が送られてきて、診断書の提出を求められた場合のみ、お出してください。

☆ご登録内容に変更があった場合(住所・電話・加入依頼者・施設等の変更)は、変更のお届けが必要です。必ずやまゆり知的障害児者生活サポート協会事務局までご連絡ください。

☆「相談事業」やっています

やまゆり知的障害児者生活サポート協会

相談室 **やまゆり** 

開設のご案内 平成23年11月より

こんな時、お気軽にお電話を/.....

- 窓 公的な機関で相談するほどのことでもない
- 窓 顔を知られているところでは相談しにくい
- 窓 親七き後のことが心配だけど
- 窓 周囲の人たちとの人間関係に悩んでいる

..... などなど

毎月第3月曜日 11時～15時
080-2334-8347 へ

※第3月曜日が祝日の場合は第4月曜日です
● やまゆり知的障害児者生活サポート協会の相談事業チームが担当します
● フライバシーに配慮し守秘義務を固く守ります

ご注意 保険に関するご相談は、やまゆり知的障害児者生活サポート協会事務局へ
☎ 045-314-7716(平日9:00～17:00)

やまゆり知的障害児者生活サポート協会
事務局〔編集〕

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

神奈川県社会福祉会館内

Tel:045-314-7716

Fax:045-324-0426



■構成団体■■■

神奈川県手をつなぐ育成会

神奈川県知的障害施設団体連合会

横浜市手をつなぐ育成会

(財)川崎市心身障害者地域福祉協会

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会